

## ハエの侵入・発生を防ぎましょう！



**ハエはさまざまな病原体を媒介します！！**

ハエの侵入・発生を防ぐポイント

①畜舎に入れない ②発生させない ③成虫になる前に駆除する  
上の3つのポイントを組み合わせるとさらに効果がアップします！

### ① 畜舎に入れない → 防虫ネットの設置

防虫ネットにはほこりが付きやすいため、換気が悪くなります。  
定期的にはこりを払いましょう。



### ② 発生させない

→ **こまめな除糞と乾燥で発生源を除去**

ハエは糞尿や湿ったところを好みます。  
ハエの発生源はこんなにたくさんあります！

牛房や豚房のすみ、バークリーナー、鶏舎の下に堆積した糞、積み上げられた糞尿、餌の食べ残し、給水器の下部、サイロのすみ、床に落ちて割れた卵 など

### ③ 成虫になる前に駆除する

→ **卵・幼虫・さなぎを殺虫剤で駆除する**

自由に動き回れる成虫の数はハエの全個体数(卵・幼虫・さなぎ・成虫)のわずか15%に過ぎません。

従って、成虫になる前の卵・幼虫・さなぎを駆除することは効果的です。

**IGR剤が効果的！**（詳細は裏面）



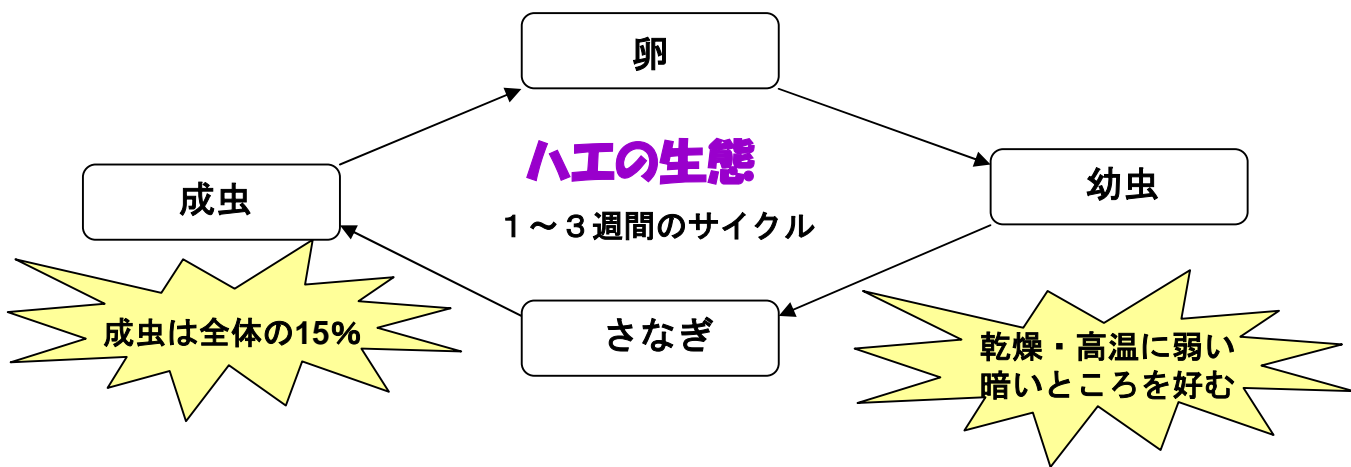
飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX 32-9019 E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

ご不明な点は、市町村担当者、獣医師もしくは家畜保健衛生所までご相談ください。

殺虫剤の中で最も効果が高く、費用対効果がよいのはIGR剤（幼虫発育阻害薬）

IGR剤を成虫が卵を産む場所や、幼虫がいる場所に丁寧にまんべんなく散布する。幼虫が存在する発生源を的確に見つけ出すことが重要です。



この他の主な殺虫剤の種類（詳細は別紙）



## 1 ピレスロイド系

除虫菊製剤で速効性があるためハエ駆除の空中散布に多用。残効性は一般的に少ない。

## 2 有機リン系

速効性のもの、遅効性のもの、残効性のあるものもあり、広く使用されている。神経毒。

## 3 カーバメイト系

塩素とリンが含まれている化合物で、殺虫力と速効性に優れるが、毒性がかなり高い。

